

第14回 緩和ケア市民公開講座

アンケート結果

「死にゆく人の心に寄り添う～最期まで家で過ごすということ」

令和4年 3月 5日(土) 三川町 いろり火の里「なの花ホール」

時間：13時30分～16時

- ・ 緩和ケアと「庄内プロジェクト」
鶴岡市立荘内病院 院長 鈴木 聡 氏
- ・ 講演：「死にゆく人の心に寄り添う～最期まで家で過ごすということ～」
講師 大慈学苑 代表理事 玉置 妙憂 氏

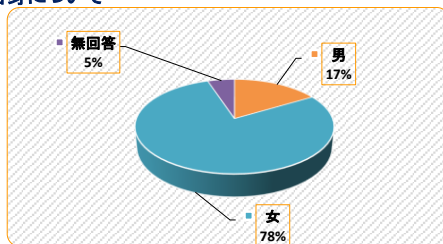


《参加人数：181名 アンケート協力176名》

1. あなた自身について

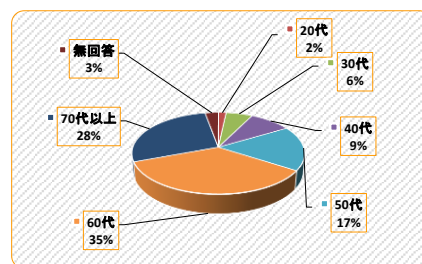
1-（1）性別

男性	29
女性	138
無回答	9
合計	176



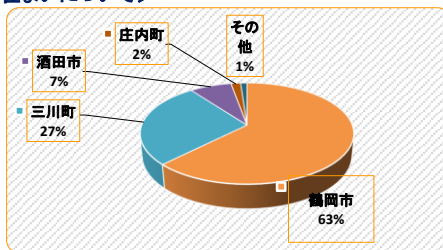
1-（2）年代

20歳未満	0
20代	3
30代	10
40代	16
50代	31
60代	62
70代以上	49
無回答	5
合計	176



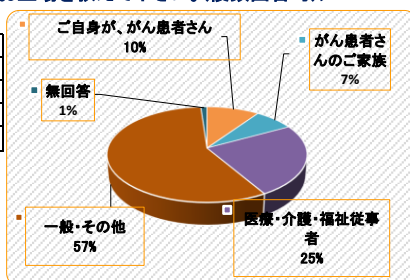
<2. あなたの住まいについて>

鶴岡市	110
三川町	48
酒田市	13
庄内町	3
その他	2
無回答	0
合計	176



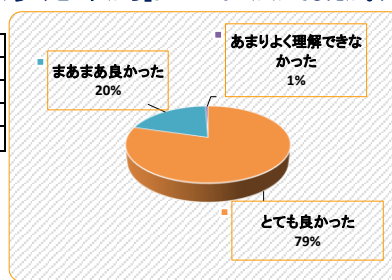
<4. あなたのお立場を教えてください。(複数回答可)>

ご自身ががん患者さん	17
がん患者さんのご家族	13
医療・介護・福祉従事者	43
一般・その他	101
無回答	7



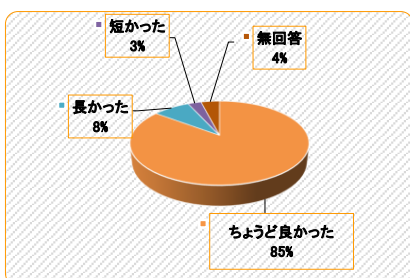
<5. 「庄内PJの10年の歩みとこれから」についていかがでしたか。>

よく理解できた	140
まあまあ理解できた	35
あまりよく理解できなかった	1
無回答	0
合計	176



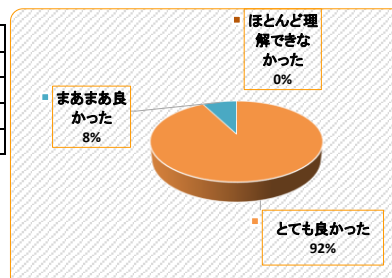
<6. 「庄内PJの10年の歩みとこれから」の時間の長さは>

ちょうど良かった	150
長かった	14
短かった	5
無回答	7
合計	176



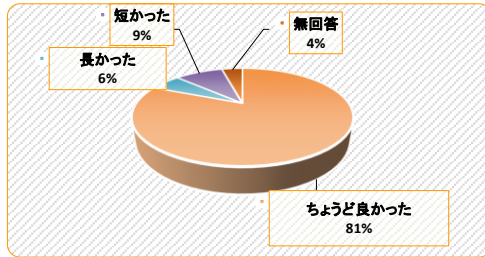
<7. 講演についてはどうでしたか>

とても良かった	158
まあまあ良かった	13
ほとんど理解できなかった	0
無回答	5
合計	176



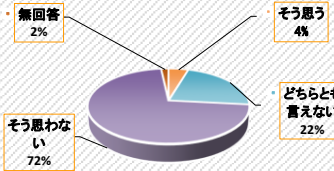
<8. 講演の時間の長さはどうでしたか。>

ちょうどよかった	143
長かった	10
短かった	16
無回答	7
合計	176

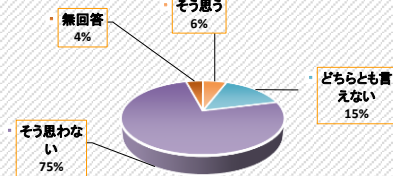


<11. 緩和ケアや在宅医療についてのあなたのイメージについてうかがいます。>

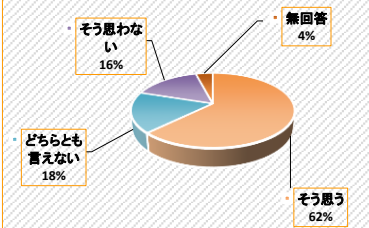
【①がんになっても病名を告知されたくない】



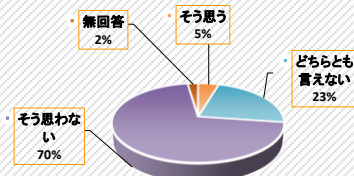
【②緩和ケアとは、末期の患者さんだけが受ける治療・ケアである】



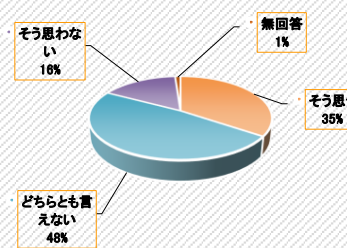
【③緩和ケアとは、化学療法や放射線治療など、がんに対する治療と一緒に行うものである】



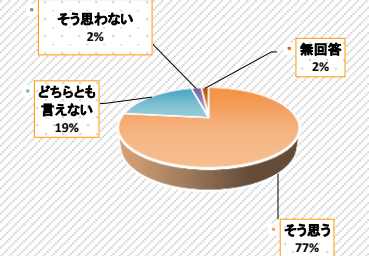
【④医療用麻薬を使用すると中毒になる】



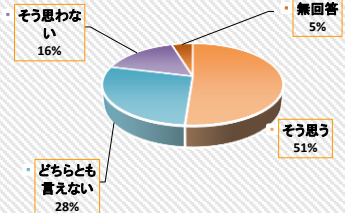
【⑤あなたが、がんになったら、最期は自宅で過ごしたいと思いますか】



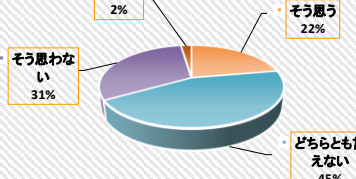
【⑥自宅で療養することは、介護してくれる家族に負担が大きい】



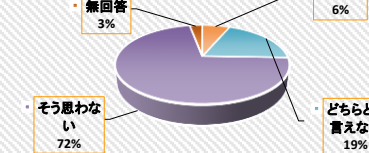
【⑦自宅では、症状が急に悪くなったとの対応が不安である】



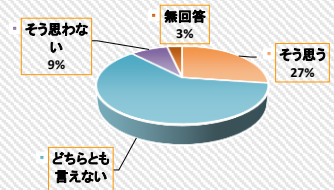
【⑧自宅では十分に苦痛をやわらげることができない】



【⑨自宅で最期を看取することは、がん患者に十分な医療を与えていないと家族が世間から思われる】



【⑩この地域では、がんになっても安心して過ごせると思う】



《ご意見・ご要望・ご感想等の自由記述》

・	テレフォン人生相談を毎日聞いています。玉置先生の顔を初めて知りました。話しもすぐ聞きやすくてわかりやすかったです。 (60代 女性)
・	ラジオの時は僧侶ということすら知りませんでした。いいお話を聞けて良かったです。 (60代 女性)
・	去年中止になり、妙憂先生がおいでくださる予定だったとは知りませんでした。こんなご時世でマスクをして講演しなければなら ない事をととても残念に思います。 (60代 女性)
・	2時間近くお話しをして下さって大変でしたでしょう。ありがとうございました。 (60代 女性)
・	お歳を知りたかった。 (60代 女性)
・	もっと聞いていたかった。特にスピリチュアルケアについてもっと聞きたかった。 (50代 女性)
・	昨年家族ががんで亡くなりましたが、緩和ケアを受けながら在宅治療して頂いた事に感謝しております。 (70代 女性)



ご協力ありがとうございました。
南庄内緩和ケア推進協議会